

# 中江藤樹の志とともに

藤樹の門人 大野了佐

大野了佐(1612~1688)は、中江藤樹(1608~1648)が大洲(現在の愛媛県大洲市)で奉行をしていた頃の同僚の子どもで、了佐の父は、了佐を武士以外の職につかせようと考えており、了佐自身も、人の役に立てる医者になりたいと強く願っていました。そこで了佐は、藤樹に医学書の読み方を教えてほしいと相談

し、藤樹を師として学ぶようになりました。

藤樹の遺墨のなかに「捷徑医筈」に関する書簡があります。捷徑とは近道、医筈とは医学のこと、捷徑医筈とは「医学の近道」という意味です。藤樹は、了佐のために、国内だけでなく中国の医学書も買い求め、その全部を読みこなして、医学の手引書を作成しました。この書簡は、手引書の続きができたので、了佐に取りに来るように伝

えたものです。了佐が学び終えたとき、書き進めながら教えた「捷徑医筈」は、四百字づつ原稿用紙にして千枚にものぼる量になっていました。

了佐は熱心に何度も繰り返し勉強して医者になり、のちに宇和島(現在の愛媛県宇和島市)に移り住み、村人に慕われながら医者の仕事を全うしました。一度立てた志を貫く粘り強さを持っていた了佐と、了佐の志を実現させた藤樹の偉大さを知ることができます。

## 令和5年度企画展

近江聖人中江藤樹記念館では、「志つよく引き立てはげむべし、石に立つ矢のためし聞くにも」(志を強く持つて真剣に努力すれば、不可能なことも可能になる)という藤樹の代表的な和歌にも表される「志」をテーマに、「藤樹の志とともに」中江藤樹遺墨展」を令和6年2月29日(木)まで開催しています。

「捷徑医筈に関する書簡」をはじめ

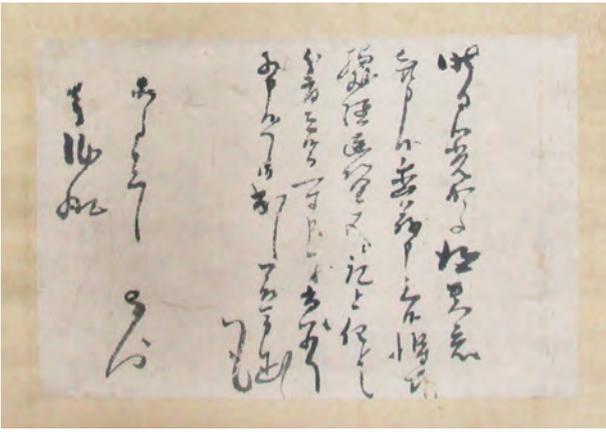
## 編集感

入園、入学された方や、就職された方、身の回りの環境の変化に少しずつ慣れてきた頃でしょうか。

そろそろ大きな連休もありますが、行動制限のないGW皆さんはどう過ごされるか決まっていますか。

かくいう私は、ひさしぶりの行動制限のないGWなので、陽気にあたって、気分転換できればと思っています。

お仕事のある方、お休みを満喫する方、いろいろな方がいらっしゃると思いますが、世間では5月に流行る病もあるそうで、行動制限はないですが、病には気をつけてお過ごしください。(R)



捷徑医筈に関する書簡



藤樹かるた



藤樹先生遺墨帖

近江聖人中江藤樹記念館

☎(32)03330

め、当館では初公開となる貴重な真筆も展示しています。藤樹の学問に対する真摯な姿勢をうかがうことのできる機会ですので、ぜひお越しください。



広報たかしま

令和5年

5

月号

No.280

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課

〒740-0202 滋賀県高島市新旭町北畑5の10番地

☎0740(25)8000(代)

🌐 <https://www.city.takashima.lg.jp>

✉ [t-info@city.takashima.lg.jp](mailto:t-info@city.takashima.lg.jp)